

ウェルフェア イズ ラヴ

2024年11月14日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ ）

国会議員や捜査当局の元トップ、犯罪被害者遺族らが死刑制度のあり方を議論する「日本の死刑制度について考える懇話会」が、11月13日に報告書を公表しましたね。

当事業所代表もネット上でその報告書を拝読しましたが、一貫して死刑制度廃止の立場で諸外国の現状や刑罰制度の意義等と絡めて論じられていました。

当事業所代表は法律の専門家ではないので、あえて報告書の内容に深く触れることはせず、死刑制度についての自身の見解を書いてみたいと思います。

当事業所代表も死刑制度には反対の立場です。理由は、確かに、死刑は最も大切で、ひとたび奪われてしまうと二度と取り戻すことのできない命を奪う、最も重い刑罰です。でもそれが、最大の『償い』になるのでしょうか。『死』は、最も辛く哀しいことであると同時に、「あらゆる辛さや苦しみから、未来永劫強制的に逃れられる。」方法でもあります。

社会福祉士として、そんな現状に強く異を唱えなければならない立場ではありますが、場合によっては死刑を宣告され得る程の罪を犯してしまった方にとって、罪を償った後も例えば就職することが難しかったり、場合によっては家族も含めて地域社会から阻害されたり、といった目に遭うことも容易に想像でき、これからの人生を決して「ラクに生きられる」訳ではないと思います。そんな社会を生き抜くことこそが本当の『償い』。残酷な表現をするならば、「死よりも辛い苦しみに耐えて、背負って、生き抜いてほしい。当事業所代表はそう考えています。

スタッフのヒトリゴト

先日、高松市社会福祉協議会の「なごみちゃんまつり」に遊びに行ってきました☆実は、高松市社会福祉協議会のお祭りであると同時に、当事業所代表が入会している、「高松市身体障害者協会」のお祭りも兼ねているのでのぞいてきました。

今年は、囲碁や将棋、オセロのコーナーが設けられ、将棋が趣味の当事業所代表も楽しませて頂きました。オセロもチョコっとやったけど、オセロが全勝負○。打ち込んでいる将棋が全勝負●という、「なんでやね〜ん…。」な結果に(😞)事業所運営に将棋の修行にガンバランといかんですね(😞)…。

LOVE のラブラブな実践

まだ正式に公表することはできないのですが、「高松市合理的配慮の提供支援に係る助成金交付」事業を活用して、来年の2月くらいに、『障がいのある方々への合理的配慮について』の市民向け研修会を当事業所主催で開催させて頂きたいと考えております。

助成金交付制度を活用出来ることは有難いことではあるけれど、そのための書類作成等行わなければならないことも増えてくる。そして、実際に助成金が交付されるのは、研修会開催後、結果報告を提出した後なので、取り急ぎは当事業所の経費で対応する必要がある。

本当、どれだけ『経営』に背を向けたいと願っても、事業所として「何かを行おう」とするのなら、完全に逃げ切ることにはできないということによりやく気付けたかもしれない…。

大きな気付きを得たところで、やるべきことは…。さて！できるだけ経費を掛けずに、かつ質を落とさない実施方法をいろいろ比較検討しながら考えていかなければいけませんね…。事業主の方々は、日々こういったことを考えながら自身の実践に奮闘されていらっしゃるのですね。

新米事業主である当事業所代表にとって、不慣れなことも多いけど…。燃えてきた！！

県内の福祉イベント案内 他♪

高松市 生涯学習課が、「知的障がい者青年教室」（スキップクラブ）のボランティアを募集しております。ちなみに、当事業所代表もこれまで5年程ボランティアとして関わらせて頂いており、今年度も継続して関わらせて頂いております。

詳細はホームページをご確認下さいませ。

[「高松市知的障がい者青年教室（愛称：スキップクラブ）」ボランティア募集について | 高松市 \(city.takamatsu.kagawa.jp\)](http://city.takamatsu.kagawa.jp)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町1562番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待♥